
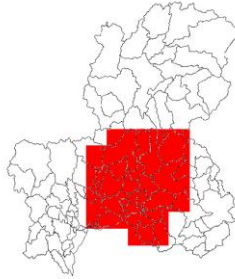


マメツタラン	<i>Bulbophyllum drymoglossum</i> Maxim. ex Okubo	準絶滅危惧
(環境省:準絶滅危惧)		ラン科
選定理由	園芸目的の採取圧がある。樹木の伐採。	<p>写真(清水英彦)</p>  
形態の特徴	根茎は細長く匍匐し、節に倒卵形で多肉質の小さな葉を付ける。基部から花茎を出して淡黄色で下向きの花を1個付ける。唇弁には紅紫斑紋がある。花期は5-6月。	
生態的特徴	樹幹や岩上に着生する。	
分布状況	本州、九州、四国、沖縄に分布する。岐阜県では美濃地方中部に分布する。	
減少要因	園芸目的の採取による。	
保全対策	採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項	シダのマメツタによく似ている。	
参考文献		

文責:山崎玲子